

令和5年度 川崎市入札契約制度 アンケート集計結果（概要版）

1 目的

入札契約制度の見直しを検討する中で、市内工事請負業者の意見を幅広く聴取し参考とするため、毎年実施しています。

2 実施方法

競争入札参加資格を有する市内建設事業者にロゴフォームにより、アンケートの送付・回収を行いました。

3 調査項目

今年度は、建設キャリアアップシステムの活用状況について、計4項目（選択式1項目、記述式1項目、選択・記述併用2項目）について実施しました。

4 回収状況等

- (1) 回答期間： 令和5年7月26日（水）～9月1日（金）
- (2) 回答数： 95社/653社（約15%の事業者から回答）

5 集計結果の概要

(1) 建設キャリアアップシステム（CCUS）について [質問1～質問4]

CCUSの活用状況について、「今後も活用する予定はない」という回答が47%と最も多く、さらに、「今後も活用する予定はない」と回答した方のうち58%が、「費用負担関係や活用するメリットがわからない」との理由から、モデル工事や総合評価項目等のインセンティブがあっても導入を検討しないと回答しています。

一方で、CCUSを「活用している」と回答した事業者の割合は昨年度と横ばいだったものの、「活用する予定あり」と回答した事業者の割合は増加し、「活用している」又は「活用する予定あり」と回答した事業者を合わせると53%となりました。

(2) その他（自由欄） [質問5]

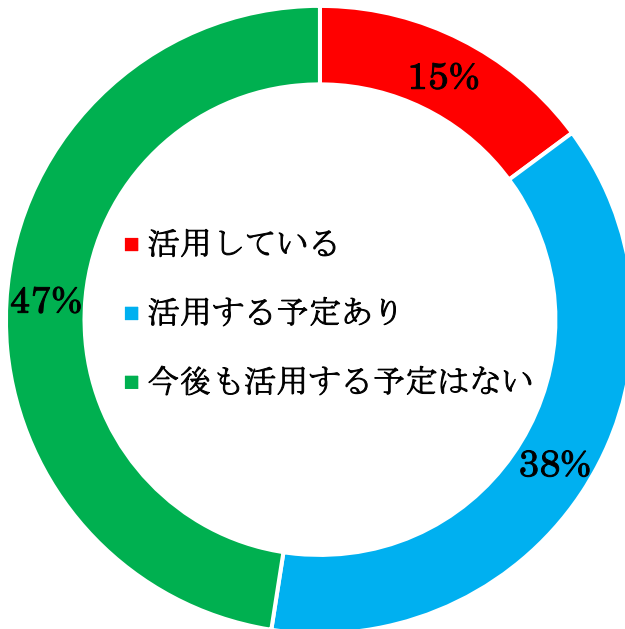
発注方法に関する意見として、土木工事において適切な発注時期や入札参加者数となるように、入札参加資格や入札制度の見直しを検討してほしいという要望がありました。

また、発注時の評価に関する意見として、アシストかわさき施工実績（緊急工事等）を評価項目から外すことや、災害時出動や防災訓練等に参加した実績のある業者に対するインセンティブ付与のあり方など、総合評価落札方式や主観評価項目に関する要望がありました。

【建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用状況】

【質問1】 現在、「建設キャリアアップシステム」を活用していますか。

※ 「建設キャリアアップシステム」とは、建設現場にカードリーダーを設置し、技能労働者の日々の就業履歴を蓄積するとともに、作業員名簿や施工体制の作成等の現場管理にシステムを活用することといいます。

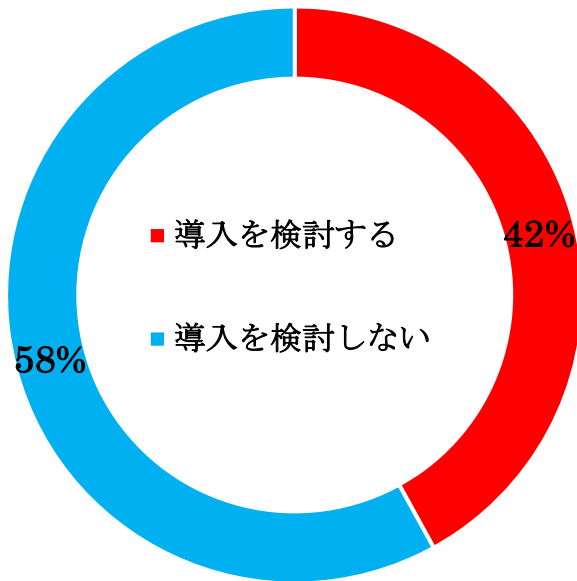


1 活用している	14 件	15%
2 活用する予定あり	36 件	38%
3 今後も活用する予定はない	45 件	47%
回答数	95 件	100%

【質問2】 質問1で「2 活用する予定あり」と回答した方に質問します。差し支えなければ、令和〇年〇月頃に活用する予定なのか教えてください。

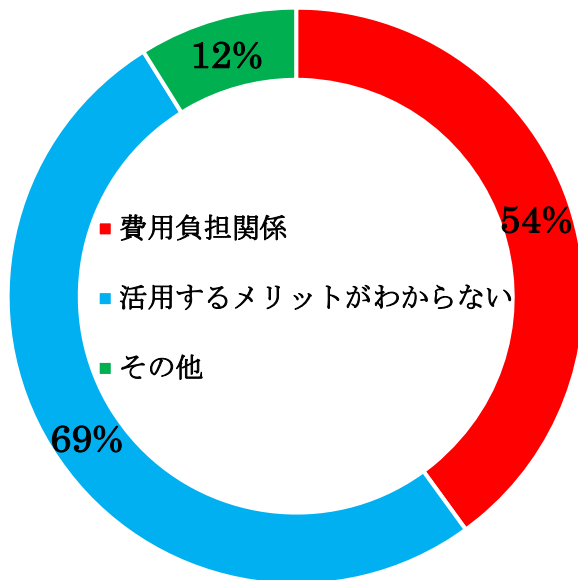
回答	<p>【CCUSにおける事業者未登録の方からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和5年8月頃 2社 ●一部事業については、令和5年9月頃 1社 ●令和5年10月頃 3社 ●令和5年11月頃 1社 ●令和5年度内 3社 ●令和6年1月頃 1社 ●令和6年4月頃 2社 ●キャリアアップシステム対象案件を受注でき次第、事業者登録を行う予定 2社 (有効回答 15社)
	<p>【CCUSにおける事業者登録済の方からの回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●次回受注工事より活用する予定 2社 ●運用対象の現場がない 1社 ●登録は済ませているが、活用時期は未定 4社 ●社内の事業形態により積極的に活用できない部署がある 1社 ●パートナー企業やひとり親方にもキャリアアップシステム申請を推進しているが、建設業の内容によって活用できる現場とそうでない現場がある 1社 ●現在申請中である 3社 (有効回答 12社)

【質問3】 質問1で「3 今後も活用する予定はない」と回答した方に質問します。モデル工事や総合評価項目等のインセンティブがあれば導入を検討しますか。



1 導入を検討する	19件	42%
2 導入を検討しない	26件	58%
回答数	45件	100%

【質問4】 質問3で「2 導入を検討しない」と回答した方に質問します。導入を検討しない理由について教えてください。(複数回答可)



1 費用負担関係	14件	54%
2 活用するメリットがわからない	18件	69%
3 その他	3件	12%
回答数	35件	

その他の理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段取引している下請け業者も導入している業者が少なく、また導入を強制することもできないので、活用することがなくただ導入するだけになってしまう可能性があるため。 ● 業種「軽微」での登録のため。 ● 業務内容的に必要性がないため。
--------	--

【質問5】 その他、川崎市の工事請負の入札契約制度に対する御意見・御要望等がありましたら御自由に御入力ください。

寄せられた意見(主なもの)

【発注方法に関する意見】

- 造園工事は、常に発注が遅く工期が足りないため、早期発注・工期の延長及び設計制度の向上を検討してほしい。
- 年度末にかけて案件が増えてくるため、材料発注などのために工期に余裕のある案件公表をしてほしい。
- 入札参加者が多く、競争が激化している土木系の業種（土木、下水管きょ、舗装、水道施設等）について、4ランク制にしてほしい。または、ランク格付けの見直しや、本社所在地をさらに限定する等、入札参加者数を抑制するために入札参加資格（条件）を見直してほしい。
- 水道施設工事について、かつて水道局時代に執行されていた指名競争入札と同様に、当該業種における契約中の件数、金額、または進捗度により、入札できないという条件を採用した入札制度を試行してほしい。
- くじ引きにより落札者を決定する案件が多いので、総合評価方式（特別簡易型）や高度な主観評価項目制度を採用する等、くじ引きとまらない制度を設けてほしい。
- 専門性のある事業者のみが参加できる入札制度を考えてほしい。

【発注時の評価（総合評価、主観評価）等に関する意見】

- アシストかわさき施工実績（緊急工事等）は、地区ごとの落札率に差がある等、不公平なので、評価項目から外してほしい。
- 総合評価落札方式において、評価点や入札金額が同等の場合、くじ引きではなく同種工事の平均点または工事成績評定点が上位の方を落札決定者とするなどとした方が、企業間の競争性が増すと考える。
- 単に所属または登録していることを評価するのではなく、実際に災害発生時又は災害発生後に出動した実績のある業者、市の総合防災訓練や各区における防災訓練等に参加した業者に対して、適正なインセンティブを与えてほしい。
- 総合評価項目に発注分野別（災害協定）を導入してほしい。
- 若手技術者の対象年齢の引き上げ等を含む現場代理人・主任技術者・監理技術者の要件（配置義務要件）をさらに緩和してほしい。

【その他の意見】

- 週休二日制導入やインボイス制度等、様々な制度が導入されているが、建設業関係者の労務費が上がっていない。資材高騰等への対策や、手続きの簡略化を検討してほしい。
- 一部のみ紙入札の案件があるため、工事や委託の入札において、検査書類も含めてすべて電子で入札できるようにしてほしい。
- 競争入札参加資格の登録を6業種から8ないし10業種まで登録できるようにしてほしい。
- 落札者の建退共の履行確認方法について、掛金収納とポイント受払いの実績報告書類の提出要領「建設業退職金共済の履行確保に関する取扱要領」を見直してほしい。